

令和元年9月八戸市議会定例会一般質問(教育委員会事務局分)

(9月9日、10日 2日間)

○9月9日(月)

会派・議員名	発言事項	発言の要旨	担当課	頁
日本共産党議員団 苫米地 あつ子	4 公民館の利便性、安全性の向上について	(1) 洋式トイレの設置について	社会教育課	1
		(2) 階段等の手すりの設置について	社会教育課	2
		(3) クーラーの設置について	社会教育課	3
自由民主・市民クラブ 高山 元延	2 社会教育行政について	マリエント「ちきゅう」たんけんクラブへの応援について	社会教育課	4
公明党 中村 益則	2 教育行政について	(1) 給食費等の徴収等について		
		ア 徴収方法の状況と課題について	学校教育課	5
		イ 給食費等の徴収に関する公会計化等の推進について	学校教育課	6
	(2) デジタル採点システムについて	総合教育センター	7	
きずなクラブ 高橋 貴之	2 教育行政について	子どもの心身の発達に関する支援について		
		ア こども支援センターの相談件数の推移について	こども支援センター	8
		イ こども支援センターの移設に向けた事業内容及び体制の検討状況について	こども支援センター	9

○9月10日(火)

会派・議員名	発言事項	発言の要旨	担当課	頁
きずなクラブ 吉田 洗龍	3 学校施設開放について		教育総務課	10
自由民主・市民クラブ 山之内 悠	1 学校教育現場における働き方改革について	(1) 教育委員会としての取り組みについて	学校教育課	11
		(2) 学校支援ボランティアについて	教育指導課	12
	2 部活動改革について	(1) 部活動の現状について	学校教育課	13
		(2) 教育委員会の取り組みと今後の見通しについて	学校教育課	14
	3 特別支援教育について	(1) インクルーシブ教育について	こども支援センター	15
		(2) 特別支援教育と外部機関との連携について	こども支援センター	16
公明党 高橋 正人	1 防災教育について	(1) 当市の防災教育の現状について	教育指導課	17
		(2) 八戸市みなと体験学習館の活用について	教育指導課	18
新緑・無所属の会 伊藤 圓子	3 学校司書派遣について	(1) 取り組みの現状と成果等について	教育指導課	19
		(2) 人材育成と今後の増員等について	教育指導課	20
	4 公民館の役割と所管について	(1) 役割の変遷と今後の方向性について	社会教育課	21
		(2) 所管のあり方について	社会教育課	22

資料（提出様式）

質問者(議員名)	苫米地 あつ子 議員
発言事項	4 公民館の利便性、安全性の向上について
発言の要旨	(1) 洋式トイレの設置について
質問内容	公民館の洋式トイレの設置状況と今後の方針について伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input checked="" type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<p>○現在、地区公民館は市内に 24 館あり、全ての地区公民館で一部洋式化を完了している。</p> <p>○現在、新たな改修の予定は無いが、今後も利用者の声を聞きながら対応していく。</p> <p>○公民館の改修については、市策定の「公共施設マネジメントの推進に係る基本方針」に基づき、公民館の個別施設計画を策定する際に、施設の長寿命化とともに検討していく。</p>
担当課	社会教育課

◎再質問

再質問の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
質問内容(概要)	
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	

◎要望

要望の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
発言内容(概要)	

資料（提出様式）

質問者(議員名)	苫米地 あつ子 議員
発言事項	4 公民館の利便性、安全性の向上について
発言の要旨	(2) 階段等の手すりの設置について
質問内容	公民館の階段の手すりの設置状況について伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input checked="" type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	○地区公民館 24 館のうち、2階建以上は 20 館あり、その全ての階段に手すりを設置しているが、その内 2 館は片側のみとなっている。 ○手すりの両側への設置は、利用者の安全確保のために有効であると考えため、実現に向けて取り組む。
担当課	社会教育課

◎再質問

再質問の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
質問内容(概要)	
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	

◎要望

要望の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
発言内容(概要)	2館のみであれば、それほど費用も掛からず出来るのではないかと考えるため、早めをお願いしたい。

資料（提出様式）

質問者(議員名)	苫米地 あつ子 議員
発言事項	4 公民館の利便性、安全性の向上について
発言の要旨	(3) クーラーの設置について
質問内容	公民館のクーラーの設置状況と今後の方向性について伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input checked="" type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	○近年の夏は、全国的に記録的な猛暑となることが多く、地区公民館利用者の健康被害も心配される状況である。 ○地区公民館のクーラーの設置状況は、24 館のうち、近年建替えた、小中野、館、江陽、根城、是川の5公民館のみである。 ○今後は、地区公民館利用者の健康に配慮し、クーラーの設置について順次取り組んでいく。
担当課	社会教育課

◎再質問

再質問の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
質問内容(概要)	
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	

◎要望

要望の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
発言内容(概要)	是非、早めの設置をお願いしたい。

資料（提出様式）

質問者(議員名)	高山 元延 議員
発言事項	2 社会教育行政について
発言の要旨	マリエント「ちきゅう」たんけんクラブへの応援について
質問内容	マリエント「ちきゅう」たんけんクラブの活動に対する更なる応援について、市長の所見を伺いたい。
答弁者	<input checked="" type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<p>○マリエント「ちきゅう」たんけんクラブは、ここ数年、大きく活動の幅を拡げている。</p> <p>○昨年11月、JAMSTECと市教委との共催で開催された「平成30年度 研究成果・活動報告会」において活動報告をしていただいたり、今年度、9月14日に「はっち」で開催する「しんかい 6500」寄港記念講演会でも、活動報告をしていただくこととしており、今後とも、様々な機会を通じた発表の場の創出に協力していく。</p> <p>○当市における、子どもたちに対する取り組みとして、海への興味を抱くきっかけとして、学校教育や生涯学習を通じた海洋教育に取り組んでいる。</p> <p>○このうち、平成29年度に開始したJAMSTECの職員らによる出前授業は、今年度は5校で実施し、29年度から3年間の延べ実施校数は14校となった。</p> <p>○海洋教育ばかりでなく、キャリア教育という観点からも、出前授業の実施は、子どもたちにとって大変意義深いものであると考えていることから、今後とも海洋教育の推進に取り組んでいく。</p> <p>○このことが、ひいては、たんけんクラブの活動に対する大きな後押しになるものと考えている。</p>
担当課	社会教育課

◎再質問

再質問の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
質問内容(概要)	
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	

◎要望

要望の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
発言内容(概要)	ふるさと寄附金を活用した、たんけんクラブへの応援について検討していただきたい。また、たんけんクラブの活動を全国へPRするため、マリエントが作製・発行する「活動記録」を返礼品に加えていただきたい。

資料（提出様式）

質問者(議員名)	中村 益則 議員
発言事項	2 教育行政について
発言の要旨	(1) 給食費等の徴収等について ア 徴収方法の状況と課題について
質問内容	市内の小・中学校における給食費等の徴収方法の状況と課題について伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input checked="" type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<p>○現在、市内小・中学校では、給食費を含め、教材費や教科実習費、校外活動費等の諸経費について、教育活動に係る学校納入金として徴収している。</p> <p>○これらの学校納入金の徴収方法については、各学校が保護者等と相談のうえ、現金徴収または口座引落としのいずれかの方法で行っている。</p> <p>○今年度、市内小・中学校の給食費を含む学校納入金について、口座引落としの学校は、小学校 19 校、中学校 7 校、現金徴収の学校は、小学校 24 校、中学校 17 校となっており、平成 29 年度時点より、口座引落としの学校が 6 校増加しているものの、市内小・中学校全体の約 6 割が現金徴収、約 4 割が口座引落としをしている状況である。</p> <p>○口座引落としを導入している学校からは、「集金・確認作業等の業務が軽減され、教職員の多忙化解消につながった」という声が寄せられている。</p> <p>○一方、導入していない学校からは、「口座引落としの事前手続きが複雑であるため、学校の負担が大きい」、「口座引落としに伴う手数料を保護者をお願いしなければならない」などの課題が報告されている。</p> <p>○さらには、口座引落としを導入することによって、保護者の学校納入金に対する意識の低下が懸念されるため、導入を見合わせている学校もあるほか、学校納入金に係る業務の負担は、学校規模により異なり、特に児童・生徒数が少人数の学校では、現金徴収の方が口座引落としよりも負担が少ないと捉えている場合もある。</p>
担当課	学校教育課

◎再質問

再質問の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
質問内容(概要)	
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	

◎要望

要望の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
発言内容(概要)	

質問者(議員名)	中村 益則 議員
発言事項	2 教育行政について
発言の要旨	(1) 給食費等の徴収等について イ 給食費等の徴収に関する公会計化等の推進について
質問内容	先頃、文部科学省より「学校給食費等の徴収に関する公会計化等の推進について」の通知があったが、今後の対応を伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input checked="" type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<p>○本年7月31日付けで文部科学省より「学校給食費等の徴収に関する公会計化等の推進について」が通知された。</p> <p>○全国の公立小・中学校における学校給食費の公会計化率は、文部科学省の2016年度抽出調査によれば、39.7%であり、60.3%が私会計で運営されているが、本市においては、昭和41年度より学校給食特別会計を設置し、公会計化については既に完了している。</p> <p>○また、本通知では、給食費以外の教材費、修学旅行費等の学校納入金についても、未納者への督促等を含め、徴収・管理を地方公共団体の業務とすることや、学校を経由せずに保護者と業者等の間で支払いや徴収等を行う方法など、学校の負担軽減を図る徴収方法等について、適切な対応を求めている。</p> <p>○市教委としては、学校の負担軽減を図る徴収方法等について検討するにあたり、教員の負担と保護者の負担の両面から比較検討する必要があるほか、徴収管理システムの導入費用や口座振替手数料のコスト、人員の確保等の課題についても多角的に検討する必要があるものと考えている。</p> <p>○今後は、教職員の負担軽減を図るための給食費等を含めた学校納入金の徴収方法等について、個々の学校事情を考慮するとともに、他都市の動向を見ながらさらに研究していく。</p>
担当課	学校教育課

◎再質問

再質問の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
質問内容(概要)	教職員の「働き方改革」について、教育長の所感を伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input checked="" type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	教員が子どもたちの指導に使命感や情熱を持ってより専念できる教育現場づくりを大事にした「働き方改革」に取り組んで参ります。

◎要望

要望の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
発言内容(概要)	

質問者(議員名)	中村 益則 議員
発言事項	2 教育行政について
発言の要旨	(2) デジタル採点システムについて
質問内容	教員の業務負担軽減が期待されるデジタル採点システムについて市教委の考えを伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input checked="" type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<p>○デジタル採点システムは、児童生徒の答案用紙をスキャナで読み取り、教員がコンピュータで採点するシステムである。</p> <p>○平成 29 年 12 月中央教育審議会中間まとめでは、採点業務について「教師の業務だが、負担軽減が可能な業務」であり、「教育委員会は、業務の効率化や事務作業の負担軽減のため、I C Tを活用する環境の整備や機器の更新を図るべきである」と示された。</p> <p>○本年 6 月施行「学校教育の情報化の推進に関する法律」では、「情報通信技術の特性を生かして、個々の児童生徒の能力、特性等に応じた教育、双方向性のある教育等が行われるための環境の整備を図ること」が求められている。</p> <p>○市教委では、教員の業務負担軽減のため校務支援システムを導入するなど、I C Tを活用する環境整備を進めてきた。</p> <p>○デジタル採点システムは、問題ごとの正答率や採点結果を出力することができ、集計業務の負担軽減が図られる。</p> <p>○しかし、自動採点の結果や記述式の解答を教員が確認する必要があり、採点業務の大幅な軽減は見込めず、採点した答案用紙は再度プリンタで印刷するため印刷経費が増えることも考えられる。</p> <p>○さらに、システムの導入にあたっては、成績情報等の情報漏洩のない安全なネットワーク環境整備や高速スキャナ付きプリンタ等の周辺機器の整備も必要となる。</p> <p>○市教委としては、校務支援システムの更なる充実と、安全なネットワーク環境整備、学習者用コンピュータの整備を重要課題として推進し、デジタル採点システムについては、有効性を検証しながら研究を進めていく。</p>
担当課	総合教育センター

◎再質問

再質問の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
質問内容(概要)	
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	

◎要望

要望の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
発言内容(概要)	文部科学省「次世代学校支援モデル構築事業」の取組事例を参考にしながら、学校における I C T環境整備とともに、教員の業務の負担軽減のための環境整備を推進して欲しい。

資料（提出様式）

質問者(議員名)	高橋 貴之 議員
発言事項	2 教育行政について
発言の要旨	子どもの心身の発達に関する支援について ア こども支援センターの相談件数の推移について
質問内容	こども支援センターの相談件数の推移について伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input checked="" type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<p>○市教育委員会では、子どもたちの健やかな成長を支援する相談窓口として平成 27 年度より総合教育センター内にこども支援センターを開設し、本年度で 5 年目である。</p> <p>○開設以来、相談件数は年々増加しており、平成 30 年度の幼児児童生徒に関する相談は、延べ 4,696 件で、開設年度の 1.6 倍になっている。</p> <p>○相談内容は、「子どもの発達・行動に関する悩み」、「子育てに関する悩み」「学校生活に関する悩み」、「不登校」など多岐にわたっている。</p> <p>○近年の傾向としては、「発達・行動に関する相談」と「不登校に関する相談」が多く、全相談数の 65%を占めている。</p> <p>○平成 30 年度の不登校に関する相談数は 1,230 件で、開設年度とほぼ同数である。</p> <p>○それに対し、「発達・行動」に関する相談数は、1,827 件で、開設年度 666 件の 2.7 倍となっている。</p>
担当課	こども支援センター

◎再質問

再質問の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
質問内容(概要)	
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	

◎要望

要望の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
発言内容(概要)	

質問者(議員名)	高橋 貴之 議員
発言事項	2 教育行政について
発言の要旨	子どもの心身の発達に関する支援について イ こども支援センターの移設に向けた事業内容及び体制の検討状況について
質問内容	こども支援センターの移設に向けた事業内容及び体制の検討状況について伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input checked="" type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<p>○当センターは、総合的かつ継続的な子育て支援を目指して事業を進めてきた。</p> <p>○具体的には、子どもや保護者支援としての「教育相談・発達相談」、「不登校状態が継続している児童生徒への支援」、さらに、学校等に対して支援体制を助言する「巡回相談」など、相談内容に応じた支援の充実に努めてきた。</p> <p>○新たに、今年度からは「未就学児ことばの教室相談員」が、健康づくり推進課より教育委員会に移管となり、切れ目のない支援体制づくりを前進させることができた。</p> <p>○また、昨年度は「副参事」を新たに配置し、今年度は、これまで総合教育センターと兼務であった「所長」「副所長」を、こども支援センター専属として配置した。</p> <p>○さらに、「事務職員」と「教育相談員」、「特別支援教育専門指導員」を各1名ずつ増員するなど、人的な環境整備も進めている。</p> <p>○次年度からは、関係各課が同じ建物内に入ることによって、必要な職員が必要な時に集まり、相談者の情報共有を行ったり、ニーズに対する役割分担等を速やかに検討したりすることが可能となる。</p> <p>○このことによって、これまで以上に、相談が迅速かつ円滑に行われ、切れ目のない支援により近づくものと考えている。</p> <p>○今後は、関係各課との具体的な連携について話し合いを進め、支援体制の一層の充実に努めていく。</p>
担当課	こども支援センター

◎再質問

再質問の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
質問内容(概要)	
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	

◎要望

要望の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
発言内容(概要)	

資料（提出様式）

質問者(議員名)	吉田 洸龍 議員
発言事項	3 学校施設開放について
発言の要旨	
質問内容	学校施設開放事業について、より柔軟な施設管理運営及び有効活用について伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input checked="" type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<p>○学校施設開放事業は、各学校に設置された学校施設管理運営協議会が利用団体の承認や運営を行っており、今年度は小・中学校 67 校の内 54 校で実施し、現在 273 団体が承認され、学校施設を利用している。</p> <p>○これまで原則として、学区内の団体に限るとして運用していたため、一部の利用頻度の高い学校においては、施設開放の空き時間帯がないため、新規団体の利用が困難な状況にあった。</p> <p>○そのため、利用希望者の利便性を考慮し、今年度から学区外の団体も利用できることとし、利用しやすい環境の整備を図っている。</p> <p>○さらに、当事業のより一層の促進と効率化を図るため、ICT システムを用いて各団体が利用希望する学校の空き状況を確認できるシステムの構築を検討している。</p> <p>○学校施設開放事業については、地域住民のスポーツ、レクリエーション及び学習文化活動のために学校を開放し、地域住民が気軽に学べる環境づくりと地域に開かれた学校づくりに資する意義深い事業であると認識しており、今後も当事業の運用状況や課題の把握に努め、更なる学校施設の有効活用を図っていく。</p>
担当課	教育総務課

◎再質問

再質問の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
質問内容(概要)	
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	

◎要望

要望の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
発言内容(概要)	

質問者(議員名)	山之内 悠 議員
発言事項	1 学校教育現場における働き方改革について
発言の要旨	(1) 教育委員会としての取り組みについて
質問内容	働き方改革に関わる教育委員会の取り組みについて伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input checked="" type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<p>○教職員の負担軽減及び望ましい職場環境の構築のために、平成 28 年度から校務支援システムを本格運用するとともに、「教職員の長時間労働の縮減に関する指針」を策定し業務の改善を図ってきた。</p> <p>○校務支援システムの運用により、入力した名簿や成績の情報が自動的に通信票や指導要録に反映されるようになり、転記等の重複作業が解消され、事務処理の負担軽減が図られている。</p> <p>○また、各学校においては、指針をもとに、会議の精選やペーパーレス化、業務分担の見直し等、学校の実状に応じた改善が進められている。</p> <p>○さらに、原則として毎週水曜日を「ノー残業デー」とし、教職員が勤務終了時刻後に速やかに帰宅できるよう働きかけるとともに、平成 30 年度からは、8 月 13 日、14 日の 2 日間を学校閉庁日に設定し、有給休暇の取得促進、教職員の勤務意欲の向上及び健康の保持増進に向けた環境整備を進めてきた。</p> <p>○校長会のアンケートや学校訪問から「校務の効率化が図られた」「有給休暇をまとめて取得しやすくなった」等の声があり、一定の成果があったと受けとめている。</p> <p>○市教委としては、教職員が子どもと向き合う時間を確保するとともに、授業や生徒指導、保護者対応等に熱意をもって取り組みながらも、適切に休養が取れる環境づくりを通して、長時間労働の縮減につなげていくことが重要であると考えている。</p> <p>○今後も学校現場の状況を把握するとともに、教職員の健全な職場環境の構築に向けて取り組んでいく。</p>
担当課	学校教育課

◎再質問

再質問の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
質問内容(概要)	
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	

◎要望

要望の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
発言内容(概要)	

質問者(議員名)	山之内 悠 議員
発言事項	1 学校教育現場における働き方改革について
発言の要旨	(2) 学校支援ボランティアについて
質問内容	地域密着型教育の中で行っている学校支援ボランティアの現状について伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input checked="" type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<p>○当市では、平成 20 年度より地域密着型教育を推進し、学校・家庭・地域が連携・協働して、地域の子どもたちを共に育てる仕組みづくりを進めている。</p> <p>○その中の一つとして、学校の教育活動や環境整備を支援する「学校支援ボランティア」という仕組みにより、地域住民や保護者の皆様にボランティアとして御協力をいただいている。</p> <p>○具体的には、学校や地域の実情によって様々な工夫が見られるが、例えば、学校の校庭や花壇などの整備を行う「環境整備ボランティア」、図書室の整備や本の読み聞かせを行う「図書ボランティア」、授業の補助を行う「学習支援ボランティア」、また、登下校時の見守り活動を行う「安全・安心ボランティア」など、多岐にわたって御協力をいただいている。</p> <p>○学校からは、「子どもたちの学習活動をよりよいものとするために、あるいは、子どもたちの安全を確保するために、教員だけでは手が足りないところを学校支援ボランティアの皆様に御協力いただき、とても助かっている。」という声が寄せられている。</p> <p>○市教委では、学校支援ボランティアの募集や取りまとめなどを行う地域密着型教育コーディネーターを各学校に配置するとともに、コーディネーターを対象にした研修を定期的開催するなどの支援を行い、活用促進を図っている。</p> <p>○今後も、地域住民や保護者の皆様の御理解・御協力を賜りながら、各学校での教育活動の充実がより一層図られるよう、ボランティアの積極的な活用を支援していく。</p>
担当課	教育指導課

◎再質問

再質問の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
質問内容(概要)	
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	

◎要望

要望の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
発言内容(概要)	

質問者(議員名)	山之内 悠 議員
発言事項	2 部活動改革について
発言の要旨	(1) 部活動の現状について
質問内容	当市における中学校部活動の現状について伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input checked="" type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<p>○少子化に伴い、学級減による教員配置数の減少のため、各中学校では部活動数を維持することが困難な状況である。</p> <p>○市教委が調査した結果では、今年度と5年前を比較すると、市内中学校24校中17校で部活動数が減少している。</p> <p>○各中学校では、学校単独での団体種目の継続が困難になってきていることから、合同チームを編成する学校が増加し、今年度は、野球競技で2校、アイスホッケー競技で5校、ソフトボール競技で3校が1つのチームを組み、大会に出場している。</p> <p>○市中学校体育連盟では、市中学校長会との連名で引率要件の緩和を認めるよう県中学校体育連盟に働きかけ、昨年度は、スピードスケート競技、今年度はアイスホッケー競技の全国大会に限り、代理引率・代理監督が認められた。</p> <p>○この代理引率・代理監督が認められたことにより、教員の負担軽減にもつながっている。</p> <p>○現在、各中学校では、生徒にとって望ましい部活動の体制づくり、教職員の多忙化解消の観点から、昨年度、当市が策定した「小学校スポーツ活動・中学校運動部活動指針」をもとに、各学校における「部活動に係る活動方針」を策定し、運営・指導方針を定め、教職員や保護者、地域と共通理解を図りながら活動を進めているところである。</p>
担当課	学校教育課

◎再質問

再質問の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
質問内容(概要)	
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	

◎要望

要望の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
発言内容(概要)	

資料（提出様式）

質問者(議員名)	山之内 悠 議員
発言事項	2 部活動改革について
発言の要旨	(2) 教育委員会の取り組みと今後の見通しについて
質問内容	部活動におけるこれまでの市教委の取り組みと今後の見通しについて伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input checked="" type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<p>○市教委では、子どもたちが継続してスポーツに取り組める環境づくりの方策として、就学すべき中学校にそれまで取り組んできた部活動がない場合に、最寄りの中学校に就学できるよう平成 20 年度に学区外通学基準を改正した。</p> <p>○当市の部活動の現状や課題を踏まえ、昨年度末、「八戸市小学校スポーツ活動・中学校運動部活動指針」を策定し、今後の運動部活動の方向性を示した。</p> <p>○今年度は、指針をもとに部活動の適切な運営や、望ましい活動時間等についての共通理解・共通実践を図るため、学校、保護者等に指針の趣旨を周知するとともに、指導者の資質向上を目的に外部指導者研修会を実施した。</p> <p>○平成 29 年度に制度化された部活動指導員について、当市でも来年度から段階的に配置を検討し、部活動の質の向上や教職員の負担軽減につなげていく。</p> <p>○また、指導者の確保に苦慮している学校に対して、関係機関との連携や学校に対する情報提供の在り方を研究していく。</p> <p>○市教委としては、望ましい部活動の環境づくりに向けて今後とも引き続き取り組んでいく。</p>
担当課	学校教育課

◎再質問

再質問の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
質問内容(概要)	
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	

◎要望

要望の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
発言内容(概要)	「合同チーム規定」・「引率要件」の緩和、市内部活動の任意加入について、中学校体育連盟や中学校長会、教育委員会とが連携・協議を重ね、改善を図ってほしい。

資料（提出様式）

質問者(議員名)	山之内 悠 議員
発言事項	3 特別支援教育について
発言の要旨	(1) インクルーシブ教育について
質問内容	将来の共生社会を目指し、インクルーシブ教育システム構築に向けて八戸市の小・中学校ではどのような取組を行っているのか伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input checked="" type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<p>○インクルーシブ教育システムとは、障害のある子どもが十分な教育を受けることを目指すシステムのことである。</p> <p>○そのために、障害のある児童生徒の自立と社会参加を目指し、一人一人のニーズに応じた特別支援教育が行われている。</p> <p>○本市には通常の学級、通級による指導、特別支援学級、特別支援学校といった多様な学びの場が整備されており、子どもの発達や適応状況等に応じて、最も適切な指導ができるよう努めている。</p> <p>○また、共に学ぶ機会を保障するために、「特別支援アシスタント」や「特別支援教育看護支援員」を配置し、特別な支援を必要とする児童生徒への支援体制を整えている。</p> <p>○各校においては、特別支援学級の児童生徒の実態に応じて、通常の学級の授業や行事等、様々な学習場面で交流及び共同学習が行われている。</p> <p>○また、特別支援学校に通っている子どもの中で希望する場合は、住んでいる学区の小・中学校で交流及び共同学習を実施している。</p> <p>○これらを通して、心のバリアフリーを推進し、共にふれ合い、共に活動する機会を設けることで相互理解の促進を図っている。</p> <p>○市教委としては、道徳科や学校行事等、全教育活動を通じて、インクルーシブ教育システムの構築に向けた特別支援教育をさらに充実させ、共生社会を担う子どもの育成に努めていく。</p>
担当課	こども支援センター

◎再質問

再質問の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
質問内容(概要)	
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	

◎要望

要望の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
発言内容(概要)	

質問者(議員名)	山之内 悠 議員
発言事項	3 特別支援教育について
発言の要旨	(2) 特別支援教育と外部機関との連携について
質問内容	特別な支援を要する児童生徒への指導に関して、外部機関との連携がどのようになされているのか伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input checked="" type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<p>○現在、学習面や行動面に困難を抱える児童生徒が多くなっている。</p> <p>○一人一人のニーズに応じた適切な指導と必要な支援を行うため、各学校では、特別支援教育コーディネーターを中心として、校内委員会等を開催し、児童生徒の実態の把握や支援方法の検討を行っている。</p> <p>○より詳細な実態把握や効果的な支援方法を探るため、こども支援センターの特別支援教育専門指導員による巡回相談や、県の特別支援教育巡回相談員制度を活用することができる。</p> <p>○巡回相談では、支援を必要とする児童生徒の行動観察や指導者からの聞き取り、必要に応じた各種検査等が実施されている。</p> <p>○それらに基づき、困難さの背景を分析し、学校に対して適切な関わり方等について指導・助言が行われている。</p> <p>○また、各校では、医療や福祉機関等、外部機関を含めたケース会議を行い、情報共有や各機関の役割を整理することで、支援の充実を図っている。</p> <p>○市教育委員会としては、学校と外部機関とが適切に連携できるよう、引き続き、特別支援教育の体制整備に努めていく。</p>
担当課	こども支援センター

◎再質問

再質問の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
質問内容(概要)	
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	

◎要望

要望の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
発言内容(概要)	

質問者(議員名)	高橋 正人 議員
発言事項	1 防災教育について
発言の要旨	(1) 当市の防災教育の現状について
質問内容	当市における防災教育の現状について伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input checked="" type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<p>○市内小・中学校では、各学校の年間指導計画に基づき、地震や火災等を想定した避難訓練を年に複数回実施している。</p> <p>○休み時間の災害発生を想定した訓練や消火器・救助袋を使用しての訓練、地域の消防署や自主防災組織と連携を図った訓練など、実践的な避難訓練を行っている事例も報告されている。</p> <p>○また、各学校の学校安全計画に防災教育に関する指導事項を盛り込み、教育活動全体を通じて、計画的に防災教育を推進している。</p> <p>○児童生徒へは、市教委が作成した八戸市版「防災ノート」を活用し、発達の段階や地域の実情に即した身の守り方や避難の仕方について、具体的に指導している。</p> <p>○また、児童生徒が防災ノートを家庭に持ち帰り、保護者と相談して災害発生時の避難場所や連絡方法等について確認をする取組により、家庭での防災意識の高揚も図っている。</p> <p>○各小・中学校では、地域住民を招いての防災講話や避難所運営訓練、給食への非常食提供等、東日本大震災の記憶や教訓を風化させない取組を実施し、児童生徒の防災意識の高揚を図っている。</p> <p>○さらに、市教委では、防災教室支援事業により各学校が開催する防災教室に、防災や災害対応の専門的な知識を有する防災士等を派遣し、災害発生時に児童生徒や保護者が主体的に身の安全を守る態度や能力の育成を図っている。</p> <p>○市教委としては、今後も防災ノートの効果的な活用や家庭、地域社会と連携した防災教育の充実が図られるよう各学校の取組を支援していく。</p>
担当課	教育指導課

◎再質問

再質問の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
質問内容(概要)	
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	

◎要望

要望の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
発言内容(概要)	

資料（提出様式）

質問者(議員名)	高橋 正人 議員
発言事項	1 防災教育について
発言の要旨	(2) 八戸市みなと体験学習館の活用について
質問内容	防災学習拠点としての八戸市みなと体験学習館の有効活用について伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input checked="" type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<p>○八戸市みなと体験学習館は、当市の歴史と文化や東日本大震災をはじめとする過去の災害についての資料が充実しており、防災に関する知識だけでなく、先人の苦労や功績も学ぶことができるよう展示方法も工夫されている。</p> <p>○当施設の活用により、児童生徒の防災意識の高揚、さらには、郷土に対する理解や愛着の深まりが期待されている。</p> <p>○市教委では、校長会等を通じて、当施設における防災学習の効果や災害時の拠点としての機能を周知するとともに、社会科見学や遠足等での活用を促している。</p> <p>○さらに、児童が体験学習等で公共施設を訪れる際のバス代を、市教委が負担する八戸圏域広域的体験学習支援事業、通称「はっふる隊」を活用できることとし、当施設の利用促進に努めている。</p> <p>○議員御提案のとおり、当施設と防災ノートを関連させた学習を実践することにより、児童生徒の防災意識はより高まるものと考えられる。</p> <p>○市教委としては、次世代を担う子どもたちの防災意識や自他の命を大切にする精神を育むために、当施設の積極的な活用を含めた防災教育を推進していきたいと考えている。</p>
担当課	教育指導課

◎再質問

再質問の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
質問内容(概要)	
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	

◎要望

要望の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
発言内容(概要)	<p>○災害発生時に誰かの指示ではなく、児童生徒が自分の意思で自分の身を守る行動できるよう、今後もきめ細やかな防災教育に取り組んでほしい。</p> <p>○そのために、八戸市みなと体験学習館を防災教育の拠点として活用することを要望する。</p>

資料（提出様式）

質問者(議員名)	伊藤 圓子 議員
発言事項	3 学校司書派遣について
発言の要旨	(1) 取り組みの現状と成果等について
質問内容	学校図書館支援事業における学校司書派遣の現状と成果について伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input checked="" type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<p>○学校司書の派遣は、児童生徒の読書環境の充実を図り、本に親しむまちづくりの推進に寄与することを目的とした学校図書館支援事業の一環として実施している。</p> <p>○今年度は、小学校 22 校、中学校 10 校の合わせて 32 校から学校司書の派遣希望があり、希望した学校全てに学校司書を派遣している。</p> <p>○学校司書の派遣回数については、学校図書館の現状に鑑みて、今年度から派遣を開始した 8 校に週 1 回程度、これまでに派遣実績のある 10 校に月 2 回程度、14 校に月 1 回程度派遣している。</p> <p>○現在、学校司書は 4 名で、1 人 8 校を担当し、学校図書館の蔵書の管理、図書の貸出・登録、環境整備等の業務にあたっている。</p> <p>○学校司書の派遣による成果として、学校が提出する「学校司書活用報告書」には、「図書資料が整備され、児童生徒が利用しやすい学校図書館になった。」「学校司書が本の展示方法を工夫したことにより、児童生徒の読書意欲が向上した。」「居心地の良い学校図書館となり、読書に親しむ雰囲気が醸成された。」などの報告が寄せられ、学校司書の派遣によって、学校図書館の活性化が図られていることがうかがえる。</p> <p>○また、学校司書を派遣した学校では、学校図書館における図書貸出冊数が、事業開始から 3 年間で 1.5 倍、実数にして 5 万冊以上増加している。</p> <p>○これは、学校司書による蔵書の管理や環境整備等によって、魅力ある学校図書館運営が推進され、児童生徒がこれまで以上に学校図書館を利用するようになったことを示していると考えられる。</p> <p>○市教委が市内の小学校 5・6 年生、中学校 1 年生から 3 年生を対象に実施したアンケートの、読書習慣に関する質問の回答状況を見ますと、学校司書を派遣した学校においては、小学校、中学校ともに、「本をよく読む」と回答する児童生徒が増加し、このことから、学校司書の派遣が、児童生徒の読書意欲の向上に寄与していると考えている。</p>
担当課	教育指導課

◎再質問

再質問の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
質問内容(概要)	
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	

◎要望

要望の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
発言内容(概要)	

質問者(議員名)	伊藤 圓子 議員
発言事項	3 学校司書派遣について
発言の要旨	(2) 人材育成と今後の増員等について
質問内容	学校司書の増員に向けた人材育成の状況と今後の方向性について伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input checked="" type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<p>○議員御指摘のとおり、将来的に学校司書として各校で活躍する人材を育成することは、本事業における重点課題の一つであると考えている。</p> <p>○市教委としては、学校司書が派遣先の学校において、図書ボランティアと一緒に学校図書館の業務を進めることによって、蔵書管理や環境整備の方法等について伝達するようにし、図書ボランティアの技能の習得・向上を図っている。</p> <p>○また、八戸市立図書館が連携して、図書ボランティアを対象とした講習会を開催し、学校司書の増員を視野に入れた人材育成を図っている。</p> <p>○本事業開始から4年目となり、学校司書による成果が周知されるに従って、市内各小・中学校からは、新規に派遣を要望する声や派遣の継続を強く望む声が多く寄せられている。</p> <p>○児童生徒の読書環境の一層の充実を図り、本に親しむまちづくりを推進するためには、より多くの学校に学校司書を派遣することが望まれるところである。</p> <p>○市教委としては、平等な教育環境の整備という観点からも、今後、段階的な学校司書の増員によって、市内全小・中学校へ週1回程度派遣することを目指すとともに、各学校の読書環境の整備・充実に努めていく。</p>
担当課	教育指導課

◎再質問

再質問の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
質問内容(概要)	段階的な増員の具体的な見通しについて、教育長の所見を伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input checked="" type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<p>○まずは、学校司書の派遣を切望する学校へ週1回程度、派遣することを実現したいと考えている。</p> <p>○派遣した学校において着実な成果をあげ、新たに希望する学校へ順次、週1回程度派遣できるよう、段階的に増員を望む所存である。</p> <p>○段階的に学校司書を増員し、将来的には市内全小・中学校へ週1回程度派遣することを目指している。</p>

◎要望

要望の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
発言内容(概要)	

資料（提出様式）

質問者(議員名)	伊藤 圓子 議員
発言事項	4 公民館の役割と所管について
発言の要旨	(1) 役割の変遷と今後の方向性について
質問内容	公民館の役割の変遷と今後の方向性について伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input checked="" type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<p>○昭和 21 年の文部次官通牒で公示された初期の公民館は、社会教育、社交娯楽施設、自治振興、産業振興としての機関であった。</p> <p>○その後昭和 24 年に社会教育法で、明確に社会教育施設として規定され、昭和 27 年に市町村教育委員会の事務に組み込まれたことで、その役割は教育・学術・文化の領域に限定された。</p> <p>○昭和 60 年代以降、生涯学習の考え方の普及により、公民館の役割は文化活動や個人の趣味・娯楽の場としても利用されてきている。</p> <p>○今後の方向性として、個人個人の連携の再構築と地域課題の解決、生涯学習によるまちづくりの拠点となることが求められていると考えている。</p>
担当課	社会教育課

◎再質問

再質問の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
質問内容(概要)	
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	

◎要望

要望の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
発言内容(概要)	

資料（提出様式）

質問者(議員名)	伊藤 圓子 議員
発言事項	4 公民館の役割と所管について
発言の要旨	(2) 所管のあり方について
質問内容	「地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律」の施行を受け、公民館運営を市長部局へ移管することについて伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input checked="" type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<p>○公民館運営が市長部局へ移管することにより、市長部局の他の施設との連携強化や「地域づくり」「まちづくり」の拠点として、地域団体の活動意欲の高揚が期待される一方で、学校教育と家庭教育の連携が薄れる可能性や単なる貸館となる懸念も指摘されている。</p> <p>○当市では、ほぼ1中学校区に1館の公民館を配置しており、地域住民に最も身近な社会教育施設として、年間約67万人に利用されている。</p> <p>○公民館講座は年間約2,000回開催し、各年代に多種多様な学習機会を提供している。さらに、市では「地区公民館を核とした地域コミュニティ活動の推進事業」により、「地域づくり」「まちづくり」にも貢献できるよう努めてきた。</p> <p>○このようなことから、現在市長部局への移管は考えていないが、さらなる公民館事業の充実に努めていく。</p>
担当課	社会教育課

◎再質問

再質問の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
質問内容(概要)	今後、公民館行政を教育委員会から市長部局へ移管することへの、市長の所見を伺いたい。
答弁者	<input checked="" type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<p>平成23年度より、コミュニティセンター機能を拡充するため、「公民館を核とした地域コミュニティ推進事業」を実施している。</p> <p>市長部局への移管に関して、地域で積み上げてきた運営のあり方を尊重しながら、他都市の動向も参考に教育部門と協議し研究していく。</p>

◎要望

要望の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
発言内容(概要)	今でも公民館は地域の中心となって鋭意努力をしていると感じており、現在の体制でも十分に公民館としての役割を果たしていると思う。次の時代に合う公民館運営を目指し、移管した場合の議論を重ねることを要望する。